



栃木県立壬生高等学校

全
日
制



所在地 〒321-0221 下都賀郡壬生町藤井1194
電 話 0282-82-0411
F A X 0282-82-7986
U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/mibu/nc2/>
創 立 昭和37年
課 程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 471名(男子152名 女子319名)(令和3年5月1日現在)
利用交通機関 壬生駅から徒歩約20分

I 学校の概要

本校は、昭和37年栃木農業高等学校定時制課程壬生分校から全日制普通科として独立し、開校しました。これまで卒業生13,500有余名を各分野に輩出し、本年度は生徒471名、教職員49名の高校として創立60周年を迎えます。自然環境に恵まれ、学習環境も整い、落ち着いた雰囲気です。また、教員と生徒との信頼関係も厚く、明るくのびのびと学校生活を送ることができます。

1 学校教育目標

社会人・職業人として自立できる人間を育てる

2 目指す学校像

- 総合的な探究の時間「職業と進路」や職場体験を通して、それぞれの能力や資質に応じた望ましい職業観や勤労観を身に付けさせることができる学校
- 進路研究や上級学校見学、さらにはコース別学習を通して、自立するために必要な知識や技能とは何か、またそれらを習得するにはどのような上級学校に進学すべきかを理解させることができる学校
- 学習指導や生徒指導、部活動を通して学力を向上させ、また規範意識や基本的生活習慣を確立させることができる学校

3 募集する生徒像

本校の教育目標と目指す学校像を理解し、次の(1)から(3)までのいずれかに該当する生徒

- (1) 本校の設置するコース別学習に興味・関心をもち、入学後も学習活動に積極的に取り組む意欲のある生徒
- (2) 部活動・福祉活動・学校行事などに優れた実績または努力した経験をもち、入学後もそれらの活動に積極的かつ意欲的に参加する意志のある生徒
- (3) 上級学校への進学を目指し、将来の目標と高い学習意欲をもつ生徒

4 本年度の努力点

(1) 生命を大切にする学校

生命あつての教育 ～ 全教職員が生徒一人一人の大切な生命を預かっているという意識を持ち、何よりも生徒の生命・人権を第一に置いた有効な教育活動を実践する。

臆病生活のススメ ～ 教育活動の万般において、最悪を想定した危機対応力を備え十分な安全配慮を推進する。

(2) 生活一流高校宣言

社会人となった時、親しみやすい人、頼りになる人、良き職業人、良き隣人と呼ばれる一流の生活者となるとともに他人に対する気配りができる「美しき人」を育てる。

人と人とのつながりを大切にする学校 ～ 自尊から他尊、そして互尊へ！

(3) 魅力ある授業づくりに取り組む学校

授業の質を高めるために、互いに切磋琢磨する教員集団を形成する。

(4) 地域との連携・協働を推進する学校

豊かな地域資源に目を向け、学校と地域関係をさらに高める。

協調、協働の視点からの郷土愛と愛校心の高揚を図る（教師、生徒ともに壬生町を知る）。

(5) 自己有用感の高揚と「夢追い人」教育

クラスや集団における自らの役割ややりがい感こそが生徒力。「どうせ自分なんて」を言わせない教育実践。

夢、ユートピアを追い求める生徒像とそれを導く教師力。語尾はかならず励ましの言葉を。

きびしい現実希望叶わなくても、次なる夢、ユートピアに向かおうとするタフネス。

5 生徒目標

「生活一流高校宣言」～生活一流、気配り一流

親しみやすい人、良き職業人、良き隣人と呼ばれる一流の生活者となる

「ステップアップ プラスワン」～もう一歩がんばる壬生高生

「ユートピアを追い求める夢追い人に」

ユートピアを追い求め、その夢かなわなくても、次なるユートピアに向かえるタフネス

II 教育課程

生徒の夢の実現に向けて支援していくため、「社会人・職業人として自立できる人間を育てる」を教育目標に掲げ、様々な教育活動を行っています。

1年生では、職業観や勤労観を育成するキャリア教育に力を入れた授業を展開し、自らの夢や目標となる進路を見付けるため、職場体験学習等の体験学習に取り組んでいます。

2年生では、生徒の興味・関心や進路選択に応じた学びができるよう、5つのコース設け、さまざまな選択科目を設定しています。また、進路選択のための一助となるよう上級学校見学（大学・短大・専門学校等）を行っています。

3年生では、5つのコースでの学習を継続するとともに、さらに選択できる科目の幅を広げて、進路選択の一助としています。

また、総合的な探究の時間では、地域との連携を図り、地域を知り、地域と協働することを目的とした授業を展開します。

～ 2・3学年のコース別学習について ～

文理コース

4年制大学への進学を目指すためのカリキュラムが設定されています。大学受験に必要な科目を中心に学習するので、選択科目は多くありませんが、コース内で理型と文型に分かれ、大学受験に必要な学力をじっくりと身に付けることができます。

情報ビジネスコース

ビジネス基礎や情報処理、簿記などの商業系の科目が学べます。また、各種検定試験の合格を目指した学習ができます。卒業後の進路は、商業・情報系の短大・専門学校や事務系の就職を目指します。

生活デザインコース

衣や食について学べます。ファッション造形やフードデザインなど家庭科系の科目が設定されています。製菓・調理系や美容系、デザイン・被服系の短大・専門学校への進学や就職を目指します。

文化創造コース

美術・音楽に関する科目が設定されています。芸術Ⅰ～Ⅲの他、器楽、声楽やビジュアルデザインなどの科目が学習できます。

福祉総合コース

看護医療系（看護・歯科衛生・理学療法・作業療法など）、保育系（幼児教育・保育など）、介護福祉系（介護など）の短大・専門学校への進学を希望する生徒のためのコースです。福祉や保育に関わる科目が学べる他に、生物や専門学校受験を想定した看護数学（学校設定科目）などの科目が選択でき、専門学校受験にも対応できる学力を身に着けます。

※各コース共通の選択科目が設定されていて、選択科目はどのコースからも選択ができます。選択科目には、簿記、服飾手芸、壬生さがしなど各教科の様々な科目があります。

Ⅲ 進路状況

本校は普通科の進学校です。多様な進路希望に応じ、一人一人の進路実現に向けて、きめ細やかな進路指導を行っています。

卒業生の進路状況（令和3年3月卒業）

	大 学	短 大	専修学校等	就 職	その他	合 計
男 子	22	0	9	10	2	43
女 子	12	27	51	13	7	110
合 計	34	27	60	23	9	153

その他…在家、予備校入学者等

過去3年間の主な進学先

【大 学】宇都宮大学、日本大学、東洋大学、東京電機大学、多摩美術大学、大東文化大学、東海大学、国土舘大学、城西大学、国際医療福祉大学、白鷗大学、足利大学、作新大学、帝京大学、拓殖大学、文教大学、日本工業大学、神奈川大学、立正大学、桐生大学、東京福祉大学、実践女子大学、跡見学園女子大学、人間総合科学大学、日本医療保健大学、郡山女子大学、平成国際大学 他

【短期大学】上智短大、大妻女子短大、佐野日本短大、作新学院女子短大、國學院栃木短大、宇都宮短大、宇都宮文星短大、上智短大、埼玉女子短大、東京交通短大 他

【専門学校】栃木県立衛生福祉大学校、県南看護高等専門学校、獨協医科大学附属看護学校、東武医学技術専門学校、昭和医療専門、宇都宮歯科衛生士専門、日本外国語専門、神田外語学院、太田情報商科専門、宇都宮ビジネス電子専門、関東職業能力開発大、マロニエ医療福祉専門、国際看護介護福祉専門、IFC栄養専門、日産栃木自動車大学校、早稲田美容専門 他

【就 職】栃木県警、石橋地区消防組合、自衛隊、二荒山神社、日本郵政（株）、東日本旅客（株）、ファナック（株）、（株）神戸製鋼、トヨタカローラ栃木（株）、日産自動車（株）、キャノン（株）、日立アプライアンス（株）、日立ジョンソンアンドジョンソン（株）、（株）タスク、（株）いすゞテクノ、アサヒグループ食品（株）、山崎製パン（株） 他

Ⅳ 特別活動

1 学校行事

- 4月：入学式、交通防犯講話、生徒総会
- 5月：創立記念講演会、スポーツ大会、避難訓練、中間テスト、性教育講話（1年）、花いっぱい運動
- 6月：遠足（1,3年）、上級学校見学（2年）、生徒会役員選挙、藤井小との交流
- 7月：芸術鑑賞会、期末テスト、薬物乱用防止講話、夏期課外、藤井小との交流
- 8月：一日体験学習
- 9月：壬生高祭
- 10月：マラソン大会、中間テスト
- 11月：修学旅行（2年）、職場体験学習（1年）、避難訓練、期末テスト
- 12月：栃木特別支援学校との交流、人権教育講話
- 1月：新春百人一首大会
- 2月：学年末テスト
- 3月：卒業式

2 生徒会活動

本校の生徒会活動はとても活発で、生徒会が中心となって学校祭やスポーツ大会などの行事を企画しています。



【コンコードハイスクールとの交流】



【遠足】



【スポーツ大会】



【ボランティア活動】

V 部活動

運動部	文化部
野球、陸上、サッカー、剣道、弓道、卓球、 バドミントン、バスケットボール ソフトテニス、バレーボール	吹奏楽、美術、書道、茶道、JRC アニメーション

400mトラック、野球場（ナイター照明）、テニスコート、弓道場、第1・第2体育館、格技場、部室棟など、充実した活動環境が整備され、日々練習に取り組んでいます。近年では陸上部・弓道部が関東大会出場しました。文化部の活動も活発で、美術部が総務大臣奨励賞を受賞、県芸術祭U25賞・県メディア芸術コンテスト最優秀賞に入賞するなど輝かしい成績を残しました。また、JRC部が被災地ボランティアを始め、地域に密着したボランティア活動で活躍しています。

VI 特色選抜について

1 定員の割合

普通科 30%程度

2 出願するための資格要件

本校の教育目標と目指す学校像を理解し、中学校で習得すべき基礎学力ならびに基本的生活習慣を身に付け、次の（１）（２）の両方に該当する者

（１）本校の設置するコース別学習に興味・関心をもち、入学後も学習活動に積極的に取り組む意欲のある者

（２）部活動や福祉活動などに優れた実績や努力した経験をもち、３年間これらの活動を継続する強い意志のある者

3 選抜の方法

選抜方法	内 容
面 接	個人面接 時間15分程度
作 文	時間40分 字数540～600字

4 その他、特記事項

なし

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 志願理由書は、調査書とともに、資格要件の確認及び面接時の参考資料として用いる。
- 調査書は、「各教科の学習の記録」（第1学年～第3学年）の評定（選択教科を除く）を合計する。（135点満点）
また、調査書の点数化されない部分については、資格要件に該当するものを評価する。
- 面接及び作文は、段階評価を行う。

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2で点数化した部分の合計点数の順位が特色選抜の募集定員の80%以内にある者（ただし、定員に満たない場合は受検者の80%以内にある者）で、点数化されない部分の評価及び面接・作文の評価において適性があると認められた者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。